

東部1地区の再編案

・既存の学校

【小学校】河辺小学校・霞台小学校・若草小学校

【中学校】霞台中学校・泉中学校

・再編案

【再編案A】河辺小学校・霞台中学校(施設分離型小中一貫校)

霞台小学校・泉中学校(施設隣接型小中一貫校)

【再編案B】河辺小学校の位置にて施設一体型小中一貫校

霞台小学校(泉中学校)の位置にて施設一体型小中一貫校

施設一体型小中一貫校を目指すことからB案を中心に検討

検討すべき視点

1 施設一体型小中一貫校の必要面積シミュレーション(グラウンド面積は学校設置基準、校舎・屋内運動場は法律施行令)

(1) 施設一体型小中一貫校

・設置予定地:河辺小学校(校地面積16,510 m^2)

・学校の規模が最も大きくなる2042年を想定

(単位: m^2)

2042年	学級数	児童・生徒数	校舎(3階建て)				グラウンド			屋内運動場			合計(A+B+C)
			延床面積			建築面積(A) 【延床面積÷3】	小学校	中学校	合計(B)	小学校	中学校	合計(C)	
小学校	18	508	小学校	中学校	合計								5,080
中学校	12	276	5,000	5,129	10,129	3,376							

(2) 施設一体型小中一貫校

・設置予定地:霞台小学校(校地面積17,924 m^2)(校地面積については泉中学校の方が広いが、霞台小学校の場合を想定)

・学校の規模が最も大きくなる2047年を想定

(単位: m^2)

2047年	学級数	児童・生徒数	校舎(3階建て)				グラウンド			屋内運動場			合計(A+B+C)
			延床面積			建築面積(A) 【延床面積÷3】	小学校	中学校	合計(B)	小学校	中学校	合計(C)	
小学校	24	549	小学校	中学校	合計								5,490
中学校	9	247	6,038	4,153	10,191	3,397							

2 通学時間および通学シミュレーション【資料5 - 2】